

質疑応答の概要

【道路計画に関すること】

Q：変更ルート案について、もう少し詳しく教えてほしい。

A：現在の都市計画ルートは河川の中に道路をつくることになるため橋梁案やトンネル案などを検討しましたが、どの構造においても実現が難しいため、道路の位置の一部を変更したいと考えています。

今後は、現地調査や測量により詳細図面をつくり、皆様と話し合いながら進めていきます。

Q：今回の案が最適と考える理由を教えてください。

A：今回のルート案とした理由は、次の3点です。

①国道4号や足立越谷線などと接続し道路網強化を図る。

②北越谷地区の防災の観点での強化を図る。

③北越谷地区内の交通渋滞の解消や交通安全の確保を図る。

Q：土工案、橋梁案、トンネル案など、本当に実現が困難なのか教えてください。

北越谷の環境を守りたいので、地下を通す案で検討いただきたい。

トンネル案は難しく、排ガスなど周辺への影響が少ない橋梁案が望ましいと思う。

A：土工案は元荒川の流れを阻害することになり、橋梁案やトンネル案は他の道路との接続ができないなど、浦和野田線の目的や機能の面から困難と考えています。

Q：東行き・西行きを上下に設ければ必要幅は半分で済むのではないか。

上下にクロスする部分は現在の幅員で構築できると思うので検討してほしい。

A：ご提案いただいた案についても、検討します。

Q：この計画は勝手すぎる。人と車のどちらが大切か、根本から考え直す必要がある。

A：この計画が決定ではありません。いただいたご意見を整理、検討して進めていきます。

Q：過去の検討過程のなかで右岸ルートがあったと聞いているが、現在はどうか。

南荻島の方を通過するルートも検討してほしい。

A：右岸ルートは北越谷地区内の道路との接続ができません。地区内道路と接続させることにより災害時の避難路として機能するなど北越谷地区内の防災機能の向上も期待できます。また、左岸側の方が事業費も少ないため左岸ルートを示させていただいています。

Q：色々な案について実現困難とのことだが、具体的に提示してもらった方が理解しやすい。

実現が困難、慢性的渋滞の緩和など、数字的な根拠づけを整理して提示いただきたい。

2.5m幅の道路ということだが、数字だとイメージが理解しづらい。

A：今後の話し合いの場では、数字や具体的な図面など理解しやすい資料を提示します。

Q：現在の桜の土手の部分についてどう考えているのか。

A：河川堤防はそのまま道路をつくることを考えていますが、具体的な位置等については、現地測量などを経て作成した詳細な図面でご意見を伺いながら検討していきます。

Q：新設道路と現在の地区内道路は接続するのか。

A：地区内道との接続については、皆様からのご意見のほか、警察との協議を行いながら検討していきます。北越谷地区のどの道路と接続するかについては未定です。

Q：交通量の削減とあるが、交通量が逆に増えてしまうのではないのか。

道路の整備は、交通量が増加して逆効果である。

A：浦和野田線を整備することにより、周辺の主要な幹線道路の交通渋滞が緩和されるとともに、北越谷地区内の道路混雑も緩和され、生活道路の交通量が低減されると考えています。

Q：現在はモータリゼーションの時代でなく、道路よりも鉄道を使う時代に向かっている。

将来的に車は減少傾向で2.5mの道路が本当に必要か疑問である。

交通量の減少を踏まえてシミュレーションしているか教えてほしい。

幅員1.3mから2.5mまで広げる必要はあるか。

A：浦和野田線の交通量は、計画で1日2万4千台の予測となっています。

道路の車線数は、道路構造令に基づき4車線で整備する必要があるため、幅員は2.5m必要となります。

Q：小学校の横を通すのであれば子供の安全が心配。対策について具体的に教えてほしい。

歩道の幅員はどれくらいか。2.5mの幅に加えて4mの歩道を整備するのか。

A：今回の対象区間について、幅員2.5mのなかに4mの歩道を整備する計画です。

Q：標題にある3・3・3とは何か。

A：道路の種別、道路の幅員、道路の通し番号を表しています。

【周辺環境に関すること】

Q：整備による悪影響は何もないと理解してよいか。

A：今後、環境面で必要な調査を実施し、必要な対策を実施していきます。

Q：川の上を通らないということだが、桜はどうなるのか。

A：河川堤防と道路を切り離すイメージであり、堤防はそのままの予定である。

Q：この地域にとって大きな環境（桜並木など）の破壊だと思う。

北越谷の桜は地域の存在にとどまらない大きな資源となっている現状を意識してほしい。

A：いただいたご意見について、整理、検討します。

Q：環境の問題（鴨の飛来など）について全く説明がない。

A：今後、話し合いのなかで説明してまいります。

Q：道路の完成は10年、20年後でも構わないと思う。

将来の子供たち、50年後のことも考えて慎重に進めてほしい。

A：いただいたご意見について、整理、検討します。

【事業計画に関すること】

Q：早く測量して話し合いの場を設けてほしいが、具体的な予定を教えてください。

A：現地調査や測量を概ね年内に完了させ、その後に図面を提示します。

Q：事業として何年くらいかかるのか、ある程度の目標を教えてください。

A：案を決めるのに概ね2年、その後に都市計画変更手続きを行うことを目標に検討を進めていきたいと考えていきます。都市計画の変更には、概ね1年はかかります。

その後、事業に着手することになりますが、具体的な事業期間については、現段階ではお示しすることができません。

目安としては都市計画変更後7年となりますが、遅れることもあります。

Q：概ね3年後から工事が始まるイメージとなるのか。

A：工事着手は用地を取得した後になります。

Q：大規模な道路工事となるが、工事用車両の通行路や資材基地などの計画はどうなっているか。

A：現時点では未定ですが、地区にとっては重要なことと認識しており、今後検討します。

Q：支障家屋の件数や総事業費はどれくらいになるか。

A：詳細な図面を作成しないと、お示しすることができません。

Q：既存資料で支障家屋の範囲等は提示できると思うので、次回にはもう少し具体的な範囲がわかる資料を提示してほしい。

相当の住宅に支障がでてくるのではないか。

移転しないといけない場合、教えていただけるのか。

何世帯くらい転居しないといけないか教えてほしい。

A：現在の状況を正確に把握した図面を作成した後、説明します。

Q：支障となる住居の移転先はどのように考えているか。

A：区画整理と違い、移転先は個別の交渉で決めることとなります。
用地担当から、最善な移転工法をお示しした上で交渉となります。

Q：建物を建てようとしているが、どうしたらよいか。

A：個別に協議をさせていただきます。

Q：これまで事業ができなかった理由があるはず、急に動き出した理由を教えてください。

A：供用済や事業中の区間があり、未着手の区間についても事業を進めたいと考えているためです。

【合意形成に関すること】

Q：地元との対話方法のスキームについて教えてください。

A：本日のような説明会を今後も開き、地元のご意見を聴きながら事業を進めていきたいと考えています。

Q：地元の意見は計画に反映されると理解してよいか。

A：意見を聴きながら事業を進めていき、計画変更も視野にいれながら進めていきます。

Q：話し合いの場で地元の意見を集約できるとは思えないので、例えばインターネットで広く意見収集できる方法を取り入れてほしい。また、その結果を公表してほしい。

A：地区ごとに、自治会長などと話し合いをしながら検討します。
インターネットの活用については、検討します。

Q：インターネットや回覧などみんなが情報を得られるような環境を整備してほしい。

A：情報の提供方法については検討します。

Q：環境のことも重要であるため、アンケート等で住民の意見を十分に把握してほしい。

A：いただいたご意見について、整理、検討します。

Q：話し合いのときにはメリット、デメリットが明らかでないと判断できないので、それを示してもらいたい。

A：いただいたご意見を踏まえて進めてまいります。

Q：自治会や桜並木保存等の団体との調整は事前にされているか。

A：説明会の開催にあたり、周知方法等についての相談はしています。

Q：県・市の責任者は、どんな反対があっても既然とした態度で何度も住民と対話し、理解を得ながら事業を進めるという意思があるのか。

A：(県・越谷県土整備事務所)

浦和野田線は重要な路線として認識しており、前向きに進めていく考えです。

皆様と意見交換をしながら進めることが必要で、皆様の協力を得ながら進めていきます。

(越谷市)

越谷市にとってだけでなく、県東南部の道路ネットワークとして必要な路線であり、事業を推進したい考えです。北越谷地区は土地区画整理事業も行われていることも含め、より丁寧に進めるが必要があると考えています。

その他堤防強化の検討や観光資源である桜などの環境への配慮などについても考える必要があります。

Q：次回の説明会はいつ頃になるか教えてほしい。

A：測量や図面の作成後と考えていますが、できるだけ早め実施したいと考えています。

Q：対岸地区や周辺地域への説明会の予定、どのような方法で行うのか教えてほしい。

A：未着手区間の各地区について、日程等は決まっておりますが説明会を行う予定です。

【周辺道路に関すること】

Q：北越谷の渋滞は、神明橋の右折交通が原因である。

右折禁止のシミュレーションや神明橋の右折禁止を試し、交通環境を整備してほしい。

神明橋の交通規制については、早めに進めていけると思う。できることから対策すればよいのではないかと。

今回の事業の費用をまずは神明橋の改良に使うべきである。

A：神明橋の対策については、今後検討してまいります。

Q：出津橋を渡るには2.5m道路を横断するのか、道路の下を通るのか教えてほしい。

A：浦和野田線と出津橋は接続していきたいと考えています。

詳細は警察などと協議を進めてまいります。

Q：現在、出津橋は人・バイクしか渡れないが、手を加える計画はあるのか。

その工事にともなって、車が通行できるような橋にするという考えはあるのか。

A：(越谷市)

現在の幅員が狭いとのことご意見も伺っており、関係機関との協議を進めていきます。

車を通すこととなれば、北越谷地区、出津地区などの話や警察の協議が必要であり、

今後、皆様のご意見を伺いながら進めていきます。